

2024年度第1学期ゼミナール

「ギリシア哲学入門： プラトンの初期対話篇『ラケス』篇を読む」

放送大学客員教員
弘前大学人文社会科学部
今井 正浩 先生

放送大学ゼミナール概要

プラトンの初期対話篇『ラケス』篇は「勇気とは何か」という問いをめぐって、アテナイの二人の著名な政治家、ラケス、ニキアスがソクラテスと対話問答を交わすという設定です。本ゼミナールでは、徳（アレテー）の本質をめぐるソクラテスとの対話問答がどのような哲学的意味を持っているかに注目します。ギリシア哲学への入門講座です。

教科書 「ラケス（講談社学術文庫）」

プラトン著、三嶋輝夫訳／講談社 1997年刊／660円＋税／
ISBN：9784061592766
※教科書を各自ご用意ください。

場 所 青森学習センター講義室

日 時 指定された 火曜日 13：00～14：00

※4月30日・5月14日のみ
13：00～14：30実施

~~4月16日 プラトンの初期対話篇『ラケス』篇を読む 中止~~

4月30日 プラトンの初期対話篇『ラケス』篇を読む

5月14日 プラトンの初期対話篇『ラケス』篇を読む

5月28日 プラトンの初期対話篇『ラケス』篇を読む

6月11日 プラトンの初期対話篇『ラケス』篇を読む

6月25日 プラトンの初期対話篇『ラケス』篇を読む

7月 9日 プラトンの初期対話篇『ラケス』篇を読む

7月30日 プラトンの初期対話篇『ラケス』篇を読む

8月20日 プラトンの初期対話篇『ラケス』篇を読む

9月10日 プラトンの初期対話篇『ラケス』篇を読む